

### 第61回京大・東大対校競漕大会を開催

六十一回目となる京都大学・東京大学対校競漕大会が、このほど大津市・瀬田川で開催された。当日は大雨の中での開会式となったが、対校レースが開始される頃には雨も上がり、松本 紘京大総長も観戦する中で、熱戦が繰り広げられた。

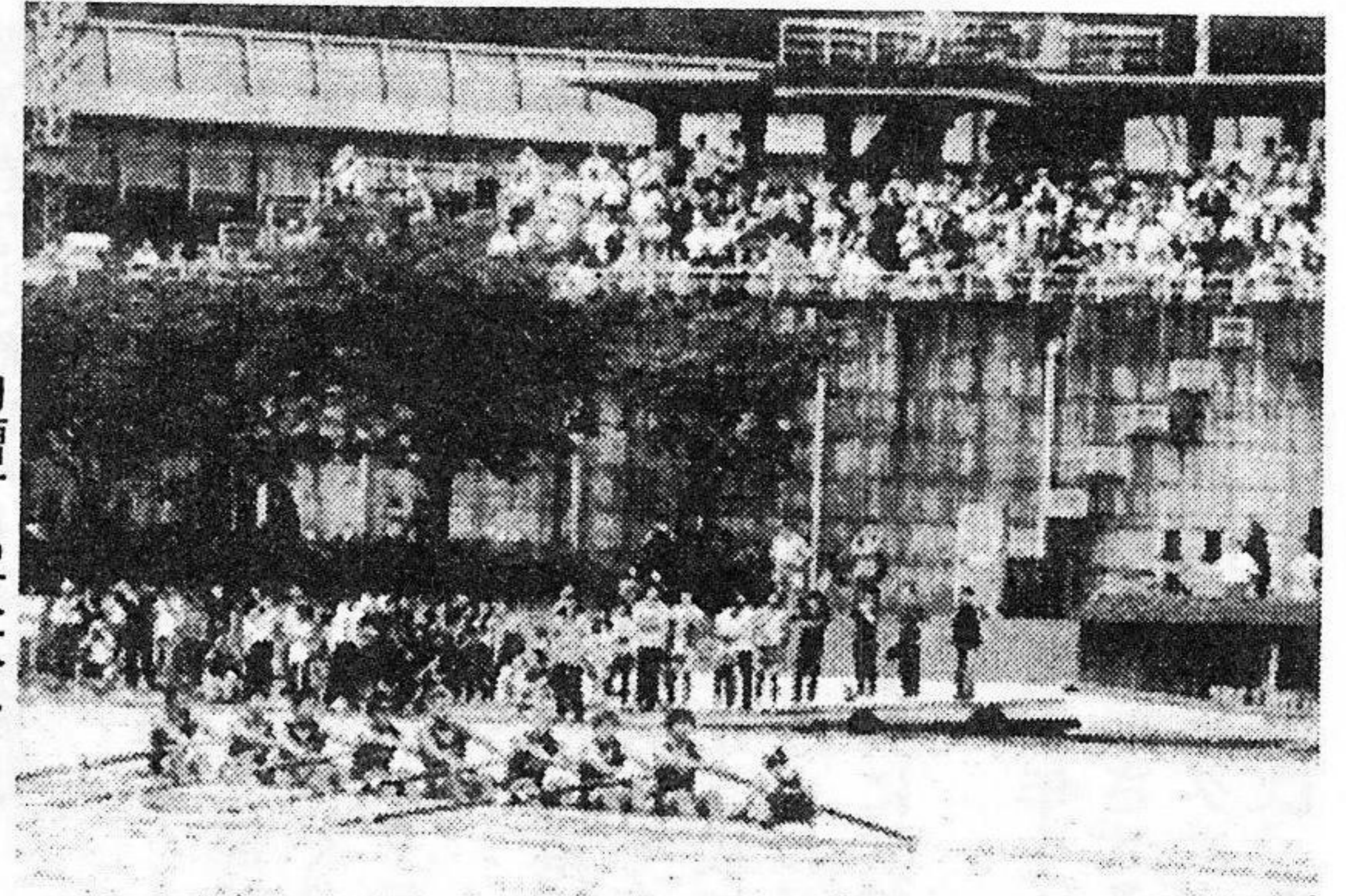
女子クオドルプルを含む対校四レースで、京大ボート部が三勝一敗、うちメインレースの対校エイトレース(三二〇〇級)では、昨年に引き続き京大が勝利した。

今回、京大ボート部は新しい試みとしてWiMAX高速大容量通信システムを利用した実況放映を実施。伴走艇や橋上、川岸からレースをビデオ撮影して、パソコンを通じて送信し、艇庫屋上観覧席の大型ディスプレイ四台で放映した。

スタートからゴールまで全コースの実況中継により、屈曲する自然河川でのレースの醍醐味や迫力、漕手の渾身の力漕を堪能することができ、観戦者は大きな声援をあげて盛り上がりつつあった。

映像はさらにUstream amを用いて、全国のOBや選手家族にもインターネットを通じて配信され、実況時には二百人を超えるアクセスがあった。

今回のWiMAX映像中継は、現役ボート部員やOB有志が一丸となつて実験を重ね、また、学術情報メディアアセンダー教員、ボート部濃青会(OB会)、関係企業および関係者の協力・支援により実現した。このレースの様子は、編集作業を経て、今後、京大OCWで配信する予定。



力漕する京大エイト



東大に先行する京大女子クオドルプル⑤



勝利を祝う松本総長、前川ボート部長と京大エイトクルー